

お茶会だより 8月号

矢島保育園 R1.8.26(月)

床の間



- ・掛軸 短冊 ~ 「^{しやういっせん きんじる} 榎上一蟬吟」(虫)
- ・香合 ~ 「金鈴虫」
- ・茶花 ~ 「フツバカマ・ミズヒキ・ムクゲ」
- ・菓子 ~ 「ききょう」

朝・夕の涼しさから夏の終わりをを感じるこの頃ではありませんが、日中は暑さから、汗が「ツワツ」とにじんできます。



今日の床の間は、夏から秋に移りかかっている中で感じられる「涼しさ」というものも表現されているように感じました。

先月に引き続き、総合案内所でお稽古をしました。

お盆休み明けと暑さで気持ちもゆるんでしまうかなと思いましたが、前回よりも気持ちを引きしめて取り組む姿勢が見られました。回を重ねるごとに、お茶会に対する意識が高まってきているように感じます。

毎月1回のお茶会を楽しみにしている子もいれば、「お茶会... 苦手だな... 正座が苦しいな...」とつぶやいたりもいます。

長い時間集中しているということはとても大変なことですが、場の雰囲気を感じとって行動したり、気持ちを落ち着かせ我慢をしたりすることも就学に向けて大切なことです。

スモールステップを大切に、日々の生活の中で養っていきたいと思います。

【今月の床の間】



《掛け軸》「しじょういつせんざんじんる枝上一蝉吟 (蝉の絵)」

木の枝の上で鳴く蝉の絵は、夏の名残りを
感じさせます。

《茶花》「ミズヒキ・フジバカマ・ムクゲ」

《香合》「鈴虫」

秋の虫、鈴虫ですが、
子ども達には、ちょっと
馴染みが薄かったようです。



《茶菓子》「ききょう」

【お稽古の様子】



お菓子をどうぞ。

連日続いた暑さから、少し疲れを感じる様子も
ありましたが、水屋の子ども達は、お客様役の
お友だちに美味しいお茶を出そうと真剣でした。



数字の“1”の字を書くよう
に…。こんな感じかなあ。

お茶を点てる時、一生懸命
になると、つつい前
屈みになって背中が丸く
なったり、手に力が入り
すぎたり…。でも、少しず
つ気を付けて行くのが、
お稽古です。

お点前、
ちようだいいたします



お客様役も丁寧な挨拶で、お茶をいただきます。

細かい動きにも、気を付けようとする子達も出てきました。
来月のお稽古も、楽しみです。